

津田かおり

VOL 13 2023 冬

通信



12月議会での一般質問

- ・送迎バスでの置き去り防止対策
- ・今後の自治会のあり方
- ・SDGsの身近な取組み
- ・困窮者支援
- ・9価HPVワクチン接種

--- 概要は次項へ ---

知事に要望書を提出



ごあいさつ

新しい年を迎えましたが、コロナ禍は依然として終息が見えず物価高騰は続き、市民の皆様の生活を圧迫しています。

本年も生活の現場で奮闘されている、お一人お一人の声に徹して耳を傾け、公明党の「地方と国のネットワーク」を活かして、福井市の発展につなげていこうと決意しています。

公明党福井県本部は、昨年12月27日、2023年度の県の当初予算案への重点要望書を杉本達治県知事に提出しました。

60項目にわたる重点事項の中には、私がこれまで市議として提案してきた内容も以下のとおり **11項目**含まれています。

杉本知事は「要望書の中身はいずれも大事なことで、できるだけ実現できるよう最大限努力する」と答えていました。

私がこれまで提案してきた11項目です

1. グリーフケア支援
2. 重度心身障がい者支援窓口無料化の推進
3. 子宮頸がんワクチン接種の推進
4. 災害時におけるペットとの同行避難者の受け入れ態勢の整備
5. 高卒資格が取得できるフリースクール支援



6. ヤングケアラー支援
7. 带状疱疹ワクチン助成
8. 身体障がい者手帳のカード化
9. インフルエンザ予防接種助成
10. ひきこもり支援
11. デジタル教科書の活用促進

市民相談 1,200 件超えました
(2019年4月～)

市民の皆様からの地域に対する
ご要望・ご相談に速やかに対応
させていただきます！

LINEでも
お気軽に！

〒910-0065
福井市八ツ島町 15-1-4

電話・FAX 0776-92-0686

E-mail kaoritsuda2018@yahoo.co.jp

津田かおり
ホームページ

送迎バスでの置き去り防止対策



Q 幼稚園・保育園・子ども園の送迎バスの台数？

A 34 の私立園で 54 台の車両が運行されている。

Q 現在の置き去り防止対策と今後の対策は？

A 他市で発生している事故を受けて、国からの依頼による実地調査を年内に完了する予定。

--- 調査内容 ---

1. 車内が見えにくいラッピングの有無

2. 子どもの出欠確認に関するマニュアル等の作成状況

3. 子どもの人数のダブルチェックの方法

バス送迎の安全管理に関する職員研修への助言も行っている。

今後は、バスの安全管理に関する内容を監査項目に加えて指導していく。



©KOMETTO

Q 事故につながる「ヒヤリハット」事例を各園で共有していく取り組みへの考え方は？

A 国のガイドライン、市の指導監査があり、各園では、原因の究明、対策について共有している。国では、全国の事例がとりまとめられ情報提供される予定で、各園で活用して事故防止に努めていく。

Q 保育士の業務負担の軽減、保育士不足を解決するための人材確保の取り組みは？

A 県社会福祉協議会による安全管理に関する研修の受講を促している。職員の業務軽減、人材確保に関しては、県保育人材センターなど関係機関との連携を図っている。



12 月議会動画



今後の自治会のあり方

Q 市の自治会の加入世帯数は？

A 現在は 78,312 世帯で、この 2 年間で 386 世帯の増加、しかし加入率は 0.4 ポイント減少している。

Q 「合併を促す事業」の概要と現況・メリットは？

A 20 世帯以下の自治会の合併を目的の補助金制度を設けている。16 件の活用があり 36 の自治会が 16 自治会に再編されている。また現在も 5 世帯以下の 14 の自治会に説明等行っている。世帯数の少ない自治会の合併は、役員の成り手不足の解消、運営基盤の強化などのメリットがある。

Q 解散した自治会への対応は？

A 近隣自治会へ加入できるように地区自治会連合会と連携し対応していく。

災害時は地域の共助が重要です。



Q 「地域担当職員制度」の現状と効果は？

A 市から 2 名の職員が担当し、地域づくり活動への参画、地域課題への対応を協議するミーティング（例：日新まちづくり委員会等）に参加している。自治会連合会長や公民館館長と連携し、地域の活性化やコミュニティの維持に効果が上がっている。

Q 自治会加入のメリットと加入促進の施策は？

A 自治会は災害時の助け合い、子どもの見守りなどの防犯活動などを通して、様々な世代との交流、安心感を得ることができ、加入促進は重要であると考えている。市民課窓口や広報誌などで加入のメリットを伝え、加入の呼びかけをおこなっている。本市として、人口減少・少子高齢化に対応できる自治会のあり方を市自治会連合会とともに検討し、持続可能な地域社会の実現に取り組んでいく。

Q 市のSDGsの身近な取り組みへの発信は？

A 目標の6番目「安全な水とトイレを世界中に」寄与する取り組みとして「上下水道展」を開催
目標の13番目「気候変動に具体的な対策を」に関しては、若年層を対象とした脱炭素に関するワークショップを開催。遊びながら気軽に学べる大型の「SDGsすごろく」を公民館に貸し出している。今後も周知啓発に取り組んでいく。

Q 小中学校でのSDGs教育の現状と取り組み

A 総合的な学習時間を中心にSDGsについて学び節電・節水や環境学習など具体的な活動に取り組んでいる。また福井市キャリアプログラムの「2030SDGsカードゲーム」を7校が実施し理解を深めた。昨年度は、福井市中学生サミットでSDGsの講演を聴いたり意見交換を行った。引き続き、学習や実践を進めていく。

困窮者支援

Q 給付金の支給対象から外れた非課税世帯の困窮される方への市独自の対応を要望する。

A 国や市の給付金事業では、非課税世帯に該当しない世帯であっても、収入が急に減少した家計急変世帯を対象にしているため、現状ではお応えできない。

Q 貸付の返済免除にならない方の数は？

A 6,163件でそのうち3,842件において令和5年1月から償還が始まるが、現時点で返済免除を受けたものは1,344件、残りの2,498件について返済を求めることになる。

Q 返済免除にならない方へ返済猶予や少額返済が可能になる事を周知していくべきでは？

A 事業の実施主体の県社会福祉協議会では厚労省の要請を受け、12月中に償還対象者に対して、返済免除や返済猶予に関する周知が行われる。市においても償還対象者のうち、より生活に困窮している方に対して、周知徹底を図ることにしている。

Q 市指定のごみ袋をリニューアルし、環境啓発を促すメッセージを記載しては？

A 現在は、福井市の基本理念にしたがい「おとましいを行動へ」のほか「生ごみは水分をよく切りましょう」等のごみの出し方について記載している。食品廃棄物の減量化を促すメッセージの記載について、新クリーンセンターの稼働開始にあわせて、より伝わりやすいメッセージを盛り込んでいく。



9価HPVワクチン接種

「9価HPVワクチン」=9種類のタイプのウィルスへの感染を防ぐためのワクチン。子宮頸がんの原因のおよそ約80~90%を防ぎ、感染予防効果は従来の2価・4価ワクチンより高い

「キャッチアップ接種」=積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方を対象に実施する予防接種のこと。

Q 定期接種対象者、およびキャッチアップ接種対象者の年代ごとの通知時期と接種件数は？

A ・定期接種対象者への通知時期

16歳=4月 15歳=7月 14歳=10月
13歳=2023年1月 12歳=2023年2月

・キャッチアップ接種対象者への通知時期
22歳~25歳=8月 19歳~21歳=4月
17歳~18歳=11月(送付済)

・接種件数

2022年度に個別に通知をした対象者は
10月末=1,264件 2021年度=1,301件

Q 効果・安全性は？

A 国の資料によると従来の2価・4価ワクチンと比べると罹患率や死亡率の減少が期待されている。安全性については、接種部位の痛みや腫れの発生頻度は多いが頭痛やめまい、発熱等の全身症状は同程度とされている。

Q 定期接種化後の対応と対象者への周知は？

A 国の動きを確実に捉え、本年4月に9価ワクチンの定期接種を開始できるよう準備を進め、対象者へ個別案内通知を行っていく。またホームページや必要に応じた説明会の開催など情報を提供していく。

78 足羽小学校南側交差点の白線補修



足羽小学校の通学路でもあり
通行する車両のスピードも速
く、危険でした。



79 中央公園の駐車禁止看板設置



車両のUターンスペースと知らずに駐車する車両が多く
Uターンの妨げになるため、看板を設置しました。

81 えち鉄 日華化学駅踏切の止まれ白線と標識設置



これは南側から見ています。反対の北側にも白線と
標識が設置されています。



現場の写真



80 大瀬橋西側ガードレールの隙間対策



高所のガードレールの左右数カ所に隙間があり、もし歩
行者や自転車が落下した場合、大変な事故になります。
隙間にチェーンを張り、落下防止対策をしました。

スマホで QR コードを読み込
むと Google Map (左画像)
が表示されます。
地図中の **赤い番号** をタップ
すると、現場の写真が表示
されます。



1月2日午後2時より、福井駅西口で「公明党
新春街頭演説」を行いました。私は、様々な話を
しましたが、福井市が実施する「ふくっこ応援事
業」についても演説しました。

「ふくっこ応援事業」とは？ **妊娠届出時に5万円
出産後に5万円**

公明党が国に提案した「子育て応援トータルブ
ラン」を受け、全国の自治体で「出産・子育て
応援交付金事業」が始まり、福井市で
も「ふくっこ応援事業」として経済
的支援を行うものです。

ふくっこ応援事業のQRコード→



新春街頭演説



手前より津田かおり・西本県
議・下畑市議・菅生市議

駅前には、想像していたより人
出も多く、賑わっていました。
新幹線開業で、福井市がさら
に活性化できるよう尽力して
まいります！

